

ジャムズネット東京メンバーインタビュー 第6回

聞き手：仲本光一

第6回はジャズピアニストの池田みどりさん。ピアニストとして様々な音楽・福祉活動の他、当ジャムズネット東京の発起人の一人として、ホームページの作成など事務を一手に引き受けていただいています。今回は、みどりさんの素顔に仲本が迫ります。

■池田みどりさん



ジャズピアニスト。ライブハウスなどでボーカリストの伴奏を中心に演奏活動。

2000年、映画「ざわざわ下北沢」(市川準監督、渡辺謙・他出演)に出演、曲を提供する。

2007年10月に、エッセイ「神さまにはプランがある」を出版。

2008年にはファーストアルバム「Time He Geve Me ～神さまがくれた時間」を、ニューヨークでレコーディング。

NY滞在中にジャムズネットの活動に参加。帰国後、ジャムズネット東京の立ち上げに加わり、事務局として活動を続ける。

■血型、星座、特技

血液型：O型、星座：牡牛座、特技：物忘れ(?!)

■ホームページ：<http://www.hi-ho.ne.jp/~midopi/>

・みどりさんが、ピアニストになられた経緯を教えてください

6歳から12歳までクラシックピアノをお稽古事として習っていました。高校2年のときに、兄が買ってきたビリー・ホリディのレコード「奇妙な果実」を聴いてから、ジャズシンガーになりたいと思い、ボーカル教室に通いました。大学でもジャズをやりたくて、入学式と同時にジャズ研究会に入りました。そこでジャズピアノの基礎を独学で勉強し、半年後には弾き語りとして仕事を始めました。当時は若くてピアノが弾ければ仕事があったんです。10年ほど続けましたが、歌うことがこわくなって仕事をやめました。なぜこわくなったのか、わ

かりませんが、声が震えて歌えなくなったんです。10年ほどのブランクの後、ピアニストとして復帰しました。

・ジャズピアニストとしてのこれまでの活動をご紹介します

ピアニストとしては、ボーカリストの伴奏が主な活動になっています。自分が歌えなくなった分、ピアノでボーカリストを支えたいというのがありますし、また、ピアノで「歌う」ということにも挑戦したかったんです。

また、作曲にも挑戦しました。私の場合はピアノ演奏についても、作曲についても一切、アカデミックな教育は受けていません。ただ、鍵盤の上に指を置いて、音を奏でるのを待つだけです。それをパソコンに記録しておきます。そうやって書き溜めた曲を、自分なりに編曲して作ったCDを作りましたが、満足のいくようなものではありませんでした。いつかこれを本当の音でレコーディングしたい……その願いが叶ったのは、それから10年以上たった2008年です。

・大病をされたとのことですが、そのご経験について差し支えない範囲で教えてください

このことについては、「神さまがくれた時間」(カゼット出版)という本に書きました。音楽を辞めていた時期に、偶然に右手の付け根の筋肉が異常に薄いことに気づきました。病院での検査入院を経て、筋萎縮性側索硬化症(ALS)という診断を受けました。本人にはその病名は伏せられたまま、4年を過ごしましたが、入院当初から、死を覚悟しなければならない病気なのだろうということはわかっていました。「生きることとは何だろう」と考えるようになったのは、病気のおかげです。2007年の本の執筆中に、再検査を受け、運動ニューロン疾患ではあるが、ALSではないという診断を下されました。

・ジャムズネットに多大な貢献(CD売上の寄付など)をされていますが、その理由を教えてください

「多大な」というほどの額は寄付していません。「お金があったら寄付するんだけど……」って、よく言いますが、小金があれば、美味しいものを食べに行ったり、お土産を買ったりと、いくらでもお金は使ってしまう。でも寄付しちゃったら、そのお金はどこかで有効に使われるはずだと思うんです。だから、信頼できる団体であれば、無駄に使う前に、寄付しちゃうって思ったんです。

・ジャムズネット東京の発起人となり、ホームページを作成されるようになった経緯を教えてください

ニューヨークでジャムズネットの活動に参加させていただくことができました。何より医師や一般の人たちが同じ目線で活動していることが、すばらしいと思いました。「このようなネットワークを世界に広げたい」というお話を聞いて、それならまず日本でもこの活動を始める必要があるだろうと思いました。帰国後、そのことを、ジャムズネットのキーパーソンである仲本先生に相談したところ、同意していただき、早速、作業にとりかかりました。まずはニューヨークのジャムズネットがやっているようにメーリングリストを作りました。ジャムズネットでお世話になった方々で帰国された方々、それと両国にまたいでネットワーク作りに力になってくださるような方々に声をかけました。また、メールのやり取りは、ときには受信するメールの多い方には煩雑になる可能性があるので、SNS サイトでコミュニティーを作りました。日記による情報発信、コメントのやり取りということ以外に、メールアドレスを公開せずにメッセージのやり取りもできるということで、メーリングリストよりさらにコミュニケーションを親密にすることができます。その4ヵ月後には、外部への発信ということで、ホームページを作成しました。

・ジャムズネット以外で、現在力を入れている活動、興味のある事につきご紹介下さい

音楽活動と福祉や教育をつなげていけたらと思っています。また、地域コミュニティーが、これからの高齢者にも、子育てにも重要になってくるだろうと考えています。現在は横浜市文化芸術振興財団からの依頼で市立小学校の生徒たちに、特別授業として音楽を通して“いのちの授業”をさせていただいています。さらには、高齢者も含め、地域のコミュニティーを巻き込む音楽活動ができればと思っています。

・ジャムズネット東京に期待すること、みどりさんがジャムズネット東京の中で実現したいと思っていることを教えてください

患者と医師、あるいは医療関係者のコミュニケーションが良好であるか否かは、お互いにさまざまな面で大きな影響を与えます。特に患者にとっては、一生を左右することもあります。医療側だけでなく、患者側としても、誤解のないようなコミュニケーションと、その知識を得る態度が必要だと思います。ジャムズネット東京が患者と医療関係者の壁を低くすることに貢献できればと思っています。そしてそのネットワークが、地域コミュニティーにまでつながっていけばよいと思います。世界で活躍する日本人であっても、毎日の生活は必ず地域とつながっているわけですから…